

小田原市人権施策推進懇談会  
不適切な表現が記載されたジャンパーの着用に関する意見

平成29年2月17日に開催された小田原市人権施策推進懇談会においての座長関東学院大学法学部教授吉田仁美氏ほか9名の構成員の主な意見は以下のとおりである。

- ・ほとんどの場合、貧困は本人の意志ではどうにもならない。今回の件は、そのことへの理解や配慮が足りないと言わざるを得ず、人権意識が希薄である。
- ・生活保護費を出す立場、もらう立場という関係性から、受給者を下に見るような感じがある。両者が同じ立場でないことが重大な問題に思える。
- ・「保護なめんな」等の文言は誰に向けたものなのか。なぜこの文言であったのか。構造上の問題があるのでは。
- ・外部に向けてのメッセージではない、という説明には納得ができない。本質をごまかそうとしているのではないか。
- ・外部に向けてのメッセージではない、というのは言い訳にならない。「書いたこと」「着用したこと」自体に問題があるという認識に欠けている。
- ・ケースワーカーが罵倒されている光景を見たことがあり、大変だなと思った。
- ・精神的肉体的に負担が大きい職場はほかにもあるが、負担が大きければ同じようなことをするかといえば、そうではない。モチベーションを上げるという話と、今回の件は結びつかない。
- ・不本意でも、ジャンパーを購入せざるを得ない人間関係や職場の雰囲気があったのではないか。「おかしい」と思った職員もいたと思う。それを言えない組織風土、組織体質に問題があるのではないか。細かい意見を汲み上げて欲しい。
- ・ジャンパー、ポロシャツ、グッズと、意味を意識しないで弄んだ感じがする。
- ・いろいろなグッズが増えていき一人歩きしている中で、10年もの間誰からも指摘がなかったことが問題である。
- ・若手職員中心の職場であったことで、「おかしい」という意見が出なかった、正しい判断ができなかったのではないか。組織的な問題があるのではないか。

小田原市人権施策推進懇談会 構成員名簿

No.	氏名 (50音順・敬称略)	区 分	所属団体等	備 考
1	いの うえ まり子	公募市民	一般市民	
2	おお いし ふみ お雄	団体推薦	一般社団法人 神奈川人権センター	
3	さい どう えみ こ 斎 藤 恵美子	団体推薦	特定非営利活動法人 小田原市障害者福祉協議会	
4	たか の たけし 高 野 剛	学識経験者	弁護士	
5	はま だ なお き 浜 田 尚 樹	行政職員	神奈川県小田原児童相談所	
6	で ぐち ふみ え 出 口 郁 恵	行政職員	横浜地方法務局西湘二宮支局	
7	なる もと きよこ 成 本 喜代子	団体推薦	小田原市人権擁護委員会	
8	ひ ぐち まさ ひと 樋 口 正 人	団体推薦	小田原箱根商工会議所	
9	やす だ さち え 泰 田 幸 枝	団体推薦	小田原市 民生委員児童委員協議会	
10	よし だ ひと み 吉 田 仁 美	学識経験者	関東学院大学 法学部	座長